

社会資本総合整備計画 中間・事後評価

令和2年3月

【担当及び関係課】道路交通局道路部街路課、都市整備局西風新都整備部

計画の名称	安全・安心なまちづくりを推進する道路等の整備（防災・安全）				
計画の期間	平成25年度～平成29年度（5年間）				
計画の目標	広島都市圏における都市基盤となる骨格道路等の整備を行い、都心及び拠点地区相互を連絡し、都市内交通の円滑化を図るとともに、避難路等を確保し都市の防災機能の向上を図る。また、歩行や自転車走行の交通環境の向上を図り、安全な通学路等を確保するなど、防災・安全対策に資することにより安全・安心なまちづくりを推進する。				
計画の成果目標（定量的指標）					
・市内の広域避難路に指定されている道路の整備率を高める。 ・広島市が実施する「行政評価制度市民意識実態調査」の「歩行や自転車走行のしやすさなど交通環境の満足度」を向上させる。		定量的指標の現況値及び目標値			備考
		当初現況値 (H24当初)	中間目標値 (H27末)	最終目標値 (H29末)	
定量的指標の定義及び算定式					
広域避難路の整備率（％） （広域避難路の整備率）＝（広域避難路に指定されている道路の供用済み延長）／ （広域避難路に指定されている道路の計画延長）		78.8%	82.7%	84.0%	
実態調査の「歩行や自転車走行のしやすさなど」交通環境の満足度調査における全標本数に占める「そう思う」または「ある程度そう思う」と答えた票数の割合（％） （交通環境の満足度）＝（「そう思う」または「ある程度そう思う」と答えた票数）／ （実態調査の当該項目の全標本数）		39.9%	現況水準 より向上	現況水準 より向上	
評価事項					
1. 要素事業の進捗状況					
事業費	H25	935 百万円	・駅前線：計画どおり用地取得を行う等、事業を推進している。 ・花都川線：計画どおり用地取得を行う等、事業を推進している。 ・山の手線：計画どおり用地取得を行う等、事業を推進している。 ・矢野中央線：計画どおり用地取得を行う等、事業を推進している。 ・畑口寺田線ほか1路線：計画どおり用地取得を行う等、事業を推進している。 ・青崎中店線：計画どおり用地取得を行う等、事業を推進している。 ・祇園山本地区開発事業 住宅市街地基盤整備事業：計画どおり事業を推進し、平成28年度にL=0.5km供用している。 ・広島西部丘陵都市（石内地区）住宅市街地基盤整備事業：計画どおり道路改良を行う等、事業を推進している。 ・広島西部丘陵都市（沼田地区）住宅市街地基盤整備事業：計画どおり用地取得を行う等、事業を推進している。 ○計画の途中で新規計画に移行した路線 ・矢賀大州線ほか1路線（平成28年度から新規計画に移行） 計画どおり道路新設工事を行う等、事業を推進した。 ・東雲大州線ほか1路線（平成28年度から新規計画に移行） 計画どおり下部工事を行う等、事業を推進した。 ・吉島観音線ほか1路線（平成28年度から新規計画に移行） 計画どおり事業を推進し、平成26年度に吉島観音線が完成した。 ・中筋温品線（平成27年度から新規計画に移行） 計画どおり用地取得を行う等、事業を推進している。 ・段原蟹屋線ほか1路線（平成28年度から新規計画に移行） 計画どおり用地取得を行う等、事業を推進している。 ・霞庚午線（平成28年度から新規計画に移行） 計画どおり事業を推進し、平成25年度にL=0.4kmの供用を行った。 ・比治山東雲線（平成28年度から新規計画に移行） 計画どおり電線共同溝工事を行う等、事業を推進している。 ・長束八木線（平成28年度から新規計画に移行） 計画どおり用地取得を行う等、事業を推進している。 ・可部大毛寺線ほか1路線（平成27年度から新規計画に移行） 計画どおり用地測量を行う等、事業を推進している。		
	H26	751 百万円			
	H27	1,530 百万円			
	H28	152 百万円			
	H29	178 百万円			
	合計	3,547 百万円			
2. 事業効果の発現状況、目標値の実現状況					
要素事業の 効果の発現状況	祇園山本地区開発事業 住宅市街地基盤整備事業：平成28年度に供用を行い、都市内交通の円滑化や都市の防災機能の向上が図れた。 ○計画の途中で新規計画に移行した路線 矢賀大州線ほか1路線：矢賀大州線を平成28年度に完成し、都市内交通の円滑化が図られた。 吉島観音線ほか1路線：吉島観音線を平成26年度に完成し、都市内交通の円滑化や都市の防災機能の向上が図れた。 中筋温品線：平成29年度にL=0.3kmの供用を行い、都市内交通の円滑化が図られた。 霞庚午線：平成25年度にL=0.4kmの供用を行い、都市内交通の円滑化や都市の防災機能の向上が図れた。				
目標値の実現状況	指標： 広域避難路の整備率（％）				成果目標の達成状況：目標達成
	中間目標値（H27末）	最終目標値（H29末）	目標値 と実績 値に差 が出た 要因		
	82.7%	84.0%			
	中間実績値（H27末）	最終実績値（H29末）			
	85.6%	86.0%			
	指標： 実態調査の「歩行や自転車走行のしやすさなど」交通環境の満足度調査における全標本数に占める「そう思う」または「ある程度そう思う」と答えた票数の割合（％）				
中間目標値（H27末）	最終目標値（H29末）	目標値 と実績 値に差 が出た 要因			
39.9%以上	39.9%以上				
中間実績値（H27末）	最終実績値（H29末）				
42.3%	40.3%				
要素事業に併せて 実施した他事業の 効果の発現状況、 及び本計画以外に 設定した目標値の 実現状況					
3. 今後の方針					
継続中の要素事業については、新たに策定した整備計画（「安全・安心なまちづくりを推進する道路等の整備（2期）（防災・安全）」など3計画）へ移行して引き続き整備することで、安全で潤いのある整った市街地を形成するまちづくりを推進する。					
4. その他特記事項					
以下の路線については、広島市公共事業再評価審議会で審議され、いずれも市の対応方針（事業継続）が妥当と認められている。 平成26年度 吉島観音線ほか1路線、中筋温品線、段原蟹屋線ほか1路線 平成27年度 駅前線、矢賀大州線ほか1路線 平成28年度 長束八木線 平成29年度 花都川線、山の手線、霞庚午線、比治山東雲線					